

こら

第101号

2023年5月

議会だより

目次

今年の注目事業	2
一般会計予算修正	3
一般質問	8
VOICE	16

リニューアル

見やすくなじみやすい
議会だよりになったよ
みてね!!!



豊後町のキャラクター
こらちゃん

今年の注目事業

3月
議会

令和5年3月定例会が、3月6日から3月22日までの会期で開催された。
令和5年度の予算は、予算・決算常任委員会に付託され審査が行われた。

西小学校安全確保事業



児童の安全確保を目的として、防犯カメラの設置とフェンスの設置
935万円

東こども園空調整備事業



空調機器が不調であるため取替工事
2,603万円



伴走型支援と出産・子育て応援事業

保健福祉課と子育て支援センターが協働し、妊娠期から出産・子育てまでの一貫した支援を実施。出産・育児等の見通しを立てるための面談や必要な支援につなぐ伴走型支援を実施する

558万円

保健福祉センター改修事業



- 【1. 照明設備改修】
温水プール屋内照明を水銀灯からLED照明にする
- 【2. 空調設備改修】
温水プール更衣室及び事務室のエアコンを改修
- 【3. 設計監理委託】
照明設備及び空調設備改修の設計監理を委託

1,906万円

観光・農業のローカルブランディングによるまちの活性化推進事業

国の地方創生推進交付金を活用し、産業課とこうら・ウェルネスツーリズム実行委員会が連携し、事業を実施。着地型観光振興や新規就農者、新規就職者の獲得や、定住人口、関係人口、交流人口の増加を目指し、過疎化が進み、かつての賑わいがなくなった本町の活性化を取り戻すことが目的（令和4年度～令和5年度）

1,000万円

だれもが安心して住める町 をめざし、一般会計予算修正!

3,260万円を増額修正し、予算総額 38億8,074万円



弁護士業務委託

454万円→304万円

150万円 **減額**

安易に弁護士委託を多用しないことを求めている予算修正。



子育て・非課税世帯、所得200万円以下の世帯を除く課税対象所得700万円もしくは、町民税所得割額42万円(世帯合算)以下の世帯に3万円給付

※但し、町税等徴収金に滞納がある場合は給付しない。

0円→1,710万円

1,710万円 **増額**

令和4年度の予算案修正で可決されたものが、一部予算執行されなかったため、改めて予算計上を求めた。

農業振興支援事業

0円→200万円

200万円 **増額**

大規模農家や農業法人などの支援だけでなく、本町には個人の零細農家も多くあるため、その支援の拡大を!



建設業者経済回復支援事業

0円→1,500万円

1,500万円 **増額**

令和4年度に引き続き、基幹産業である建設業者への支援を要求。可能な限り分離分割発注を。



予算決算常任委員会意見要約



答 75歳に達した方の糖尿病予防のサポートで、健康教育、健康相談を行う。

問 介護予防一体的事業202万円は、委託先が滋賀県栄養士会だが、内容は何か。

答 ふるさと応援寄付金について何らかの方策をたて、増やすことが一番の早道である。

問 財源確保の点で、町独自で収入を増やすにはどうしていくか。

答 パイプハウスに専用の機器を設置して温度・湿度等を測定し、農家のスマートフォンに送信する。そのデータや作物の画像を大学に送信することにより、農家と大学がデータを共有し、農家は大学から栽培に関するアドバイスを受け、品質向上を図るイメージである。

問 摂南大学とのIoTを活用した農産物生産性向上事業300万円は、生産性向上や品質のレベルアップなどだがイメージやスタンスがわからない。今のままでは弱いかどうか。

答 申請状況に応じ補正対応する。

問 補聴器購入助成事業60万円は15人分を超えたら補正ということか。



問 マンホールトイレとはどのようなものか。

答 マンホールの上にタンクを張り、トイレを設置。総合地震対策計画をもとに設置。



賛 否	議 員 名										結果	
	小森	岡田	山田充	山田裕	野瀬	阪東	宮寄	丸山	木村	西澤		建部
一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	修正可決
一般会計予算に対する修正（案）	○	○	○	○	●	○	○	-	○	○	○	可決
国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	可決
後期高齢者医療事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
墓地公園事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	

【賛成は○、反対は●、議長は可否同数の場合のみ採決に加わる】

審議結果

令和5年第4回 臨時会

2月10日

全 員 賛 成

令和4年度 一般会計補正予算(第10号)

令和5年3月定例会

3月6日～3月22日

全 員 賛 成

使用料徴収条例の一部を改正する条例

国民健康保険条例の一部を改正する条例

道路占用料徴収条例の一部を改正する条例

手数料徴収条例の一部を改正する条例

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例

職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

職員の高齢者部分休業に関する条例

令和4年度 国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

令和4年度 介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

権利の放棄及び和解につき、議決を求めることについて

和解契約の締結につき、議決を求めることについて(議案第29・30・32号)

精神障害者に対する医療費助成制度の改善を求める請願書

精神障害者に対する医療費助成制度の改善を求める意見書(案)

議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例(案)

賛否がわかれたもの	議 員 名										議長	結果
	小森	岡田	山田充	山田裕	野瀬	阪東	宮寄	丸山	木村	西澤		
個人情報の保護に関する法律施行条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決
情報公開・個人情報保護審査会条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	
まちづくり条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	
令和4年度 一般会計補正予算(第11号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	
和解契約の締結につき、議決を求めることについて(議案第31号)	○	除 斥	○	○	○	○	○	○	○	—	—	
議会の個人情報の保護に関する条例(案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	
「ご当地ナンバー」導入の再考を求める決議(案)	○	○	欠	○	●	○	○	○	○	—	—	
町長の辞職勧告決議(案)	○	○	○	○	●	○	●	○	退 席	○	—	

【賛成は○、反対は●、議長は可否同数の場合のみ採決に加わる】

精神障害者に対する医療費助成制度の改善を求める意見書

精神障害者の「こころ」と「からだ」が安心して医療にかかわることができるよう、医療費助成制度を拡充するため、精神障害者の入院医療費、および精神科以外の受診においても、身体障害者、知的障害者と等しく、医療費助成制度を拡充すること。



条例制定

地方公務員の定年引上げ

- ・職員のだんねん等に関する条例の一部を改正する条例
- ・地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
- ・職員の高齢者部分休業に関する条例

地方公務員のだんねん年齢が65歳に引き上げられた。
現行の60歳のだんねんを段階的に引き上げて65歳とする。

	現行	令和5年度 ～6年度	令和7年度 ～8年度	令和9年度 ～10年度	令和11年度 ～12年度	令和13年度 ～
定年	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳

役職定年制（管理監督職務上限年齢制）や定年前再任用短時間勤務制を導入。



条例制定

個人情報保護

- ・個人情報の保護に関する法律施行条例
- ・情報公開・個人情報保護審査会条例
- ・まちづくり条例の一部を改正する条例
- ・議会の個人情報の保護に関する条例

「デジタル社会形成整備法（デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律）」第50条・第51条により、個人情報保護制度が見直され、官・民の制度が個人情報保護法へ統合された。

全国の地方自治体では、令和5年4月施行に向け、現在の「個人情報保護条例」による運用から、新たな「個人情報保護法」に基づく運用へ移行するための条例。



議会議員の議員報酬及び 費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

議長報酬	
現 行	令和5年4月1日～
280,000円	250,000円

町長の辞職勧告決議

- ① 町長は、「行政力の再生」、「職員力の向上」、「日本一の甲良町にする」と公約したが、行政力は低下し、職員力は落ちている。
- ② 職員や議会と協議をして結論や指示、決定をしても、すぐ気が変わり、撤回、変更することが多く、優柔不断である。
- ③ 職員の停職処分をめぐる裁判で敗訴したが、判決理由からして控訴は断念すべきと意見をしても控訴した。結果、「控訴棄却」で敗訴したが、無謀にも最高裁へ上告した。
- ④ 町長給与40%減額（3件の不正行為が原因）を「0」にして100%支給せよと提案してきたが議会は否決した。町長は県知事に審査を申し立てたが、「議会の否決は法令に違反するものではない」、「申立てには理由がない」と「棄却」の裁定を下された。
- ⑤ 国の臨時給付金対象外世帯への5万円給付事業において、再議に付され特別多数決で議決されたが、議決を無視して執行しないと言う。町民や議会への背信行為である。
- ⑥ 先の、職員の停職処分をめぐる裁判において最高裁は、上告に理由がないと「棄却」した。実体的内容に触れずに、いわゆる門前払いである。
- ⑦ 「ご当地ナンバー」導入については、彦根市長の提案に愛知・犬上の4町長のうち甲良町長だけが即賛同し独断で進めて来た。すでに、導入申込書を県に提出している。

今後の町行財政課題は大きくて多いが、現状の野瀬町長の政治姿勢、人間性からして、困難であり、到底成しえない。

よって、野瀬町長では、町の発展・向上は望めないことから直ちに辞職するよう強く勧告する。



滋賀県町村議会議長会 自治功労者の表彰

議員11年以上在職者

議員 野瀬 欣廣
議員 阪東 佐智男
議員 宮崎 光一

全国町村議会議長会 自治功労者の表彰

議員15年以上在職者

議員 丸山 恵二
議員 木村 修
議員 建部 孝夫

一 般
質 問

町政のここが知りたい！ 聞きたい！

一般質問とは、議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をもとに、町長などに方針を問うものです。

ページ	質問事項	質問議員
9	<ul style="list-style-type: none"> ・IT、GIGAスクール事業を問う ◎自転車損害賠償保険の把握並びにヘルメット着用率把握について ・マイナンバーカードの普及率とデジタル社会について ・インボイス制度の町への影響 ◎近未来の甲良農業のあり方を問う 	ばんどう さちお 阪東 佐智男
10	<ul style="list-style-type: none"> ◎甲良中学校の施設整備について ・道路整備について ◎学校給食の無償化について 	まるやま けいじ 丸山 恵二
11	<ul style="list-style-type: none"> ◎通園バスの事故防止について ◎インターネットリテラシーについて 	のせ よしひろ 野瀬 欣廣
12	<ul style="list-style-type: none"> ◎生活道路の安全確保について ◎ごみの抜本的減量と新ごみ処理施設整備について 	にしざわ のぶあき 西澤 伸明
13	<ul style="list-style-type: none"> ◎選挙について ◎ふるさと納税について 	みやざき みつかず 宮崎 光一
14	<ul style="list-style-type: none"> ◎ひとり親家庭等への支援について ・アドベンチャートラベルについて ・国交省のプロジェクト「PLATEAU」について ◎図書館の利用について 	おかだ たかゆき 岡田 隆行
15	<ul style="list-style-type: none"> ・本町における行政処分のあり方を問う ◎本町における裁判の現状を問う ◎除雪作業における現状を問う 	やまだ ひろやす 山田 裕康



◎印の質問を掲載しています。

問 中学生の登下校 ヘルメット着用率は

答 以前よりはやや上がっているが4割程度



阪東 佐智男 議員



問 道路交通法の一部改正で、今年4月1日より小さな子からお年寄りまで全ての自転車利用者は、ヘルメットの着用が、努力義務で法制化される。自転車に乗るときには、自らの命を守るためにヘルメットを積極的にかけ、万一の事故に備える。中学生の登下校中のヘルメット着用率の現状は。

答 着用率は4割程度で、以前に比べて徐々に上がってきた。生徒会で、ヘルメット着用週間を設け、熱心に啓発活動を行い、また啓発活動の一環として、プロモーションビデオを作ってアピールし、着用率を徐々に上げているところである。

※本来は、わが子を万一の事故から守るため、父母にしつけをお願いしたいが、地域も含めて、見守りや指導が重要と考える。

問 近未来の甲良農業の

あり方を問う

答 集落営農法人での人材育成が課題

問 基幹産業である農業の10年後をどのように展望するか。農業センサス2020から見て、持続可能な農業に導くために本町が進める事業は何か。

答 農業は国の礎と言われるが、その割に農業政策はいつの時代も厳しいと実感をしている。

農業は多面的機能があり、農業者が環境保全管理をしている。更に農事組合法人は基幹作物の稲、麦、大豆生産で、採算的

に事業が成り立たないところを、従事者が十分な給料保障がないが、自分のできる範囲で農業を守る精神のもとに取り組んでいる状況である。今後は人材育成に向けて、県や近隣市町との情報共有に努めたい。



次世代 リモコン型草刈り機



生物多様性
(多面的機能の一環)



ヘリ防除



丸山 恵二 議員

問 中学校の施設の整備について問う

答 要望があった場合はその都度対応していく

問 先日の中学生議会において質問が出ていたが、中学校のテニスコートは地面の凸凹も酷く、状態が悪いため修繕が必要な状況である。さらにグラウンドは複数の部活で使用しているため、それぞれの部活のスペースが十分に確保されていない状況もある。また、前回の東京五輪では彦根市出身の選手が3名出場していた。町においても子どもたちがスポーツの分野で活躍できるよう練習環境をしっかりと整えて支援すべきである。施設の修繕等について町の考えを問う。



テニスコート

答 テニスコートは、ラインテープの修繕と、土の入替え等を考えている。また、テニスコートの新設等は少子化問題等の様々な状況を踏まえ、部活が存続するかどうかを見定めながら検討を進めていくとともに、中学校から要望があった場合はその都度対応していきたいと考えている。

問 給食費の無償化について問う

答 今後の社会情勢を踏まえて判断する

問 令和4年度においては新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金を活用して給食費の無償化を実施したとともに、令和5年度においても給食費の無償化にかかる予算が計上されている。この取組については非常に良いと思うが、令和5年度までの一時的な措置ではなく、今後子育て施策として給食費の無償化の継続を。

答 令和5年度においては、引き続き物価上昇が懸念されるため給食費の無償化について予算措置をしている。現在、給食費を無償化している理由としては物価上昇の影響であり、令和6年度以降についてはその時の社会情勢や町の財政状況を踏まえ判断していく。



東こども園 給食の様子



問 通園バスの 事故防止策を問う

答 令和5年度予算で対応予定



野瀬 欣廣 議員



問 ① 令和3年に福岡で男児が通園バスに置き去りにされ、死亡するという痛ましい事故等があり、これらを受け今年の4月から事故防止装置の取り付けを義務付けたが、本町の対応はどうしているのか。

答 ① 期日の延期があり令和6年3月までに対応するように通知が来ている。令和5年度の予算でブザーを装置予定。装置の取り付けまではマニュアルに従い運転手と保育士の2名で確認すること、出席予定の整合がつかない場合は電話による確認を徹底する。

② 「ヒヤリ・ハット」活動は実施しており、職員会議などで情報共有できるようにしている。

問 インターネットリテラシー

の教育が必要では 学校だけでは不十分で家庭での役割も大きい

問 ① 常識を疑われるようなSNS投稿で社会的な批判を浴びているインターネットを正しく使いこなすための知識や能力（インターネットリテラシー）を身に付ける必要がある。どのような指導をしているか。

② インターネットでは宅急便の再配達連絡や銀行からの本人確認連絡など、大人でも引掛かりそうなフィッシング詐欺が横行しているが、対策は

答 ① トラブルの具体例をあげながら毎年「スマホ携帯人権学習」も行っているが、家庭でも指導をお願いしたい。

② 具体例をあげ、県警のサイバー対策室の職員に来てもらい指導している。



問 役場前交差点改良 工事について改善を求めるべき



西澤 伸明 議員

答 集落と引き続き協議していく

問 ① 県道役場前交差点の改良工事について、

着工からあまりにも時間がかり過ぎていて、通行上も支障をきたしている。交差点以南の社社の用地交渉の状況は。

② 甲良神社側の用地交渉も成立していないのに、北側を工事着工したのは県のミスではないか。県の姿勢に対して的確に批判をするのは、町長の役割なので、町長はどう考えているのか。

③ 町の西側倉庫の撤去計画は大変早い。南北の右折だまりを造るという大規模な計画にもかかわらず、その周到な準備、地元との話し合い、合意・成案ができるまでに一方だけを着工したのは、大きなミスだと県が率直に認める必要があると思うが。

答 ① 用地交渉中で、時間がかかっているとのこと。甲良神社用地につ

いて地元と県の話合いを第1回目、令和4年8月25日に行った。

② 難航している原因については、社務所、鳥居、太鼓倉が立ち退き対象となっており、大きな事業なので、地元の委員会で合意形成の体制を取っている。

担当課長とともに、町長である私も一緒に湖東土木事務所と地元へ足を運んでいるが、先行して本殿の屋根工事もあり、地元負担がかなり必要なので、地元調整に難航している状況だ。

③ 同時着工ができなかった点の行政不一致があったが、終わったことなので、地元集落と引き続き協議を重ねていきたい。



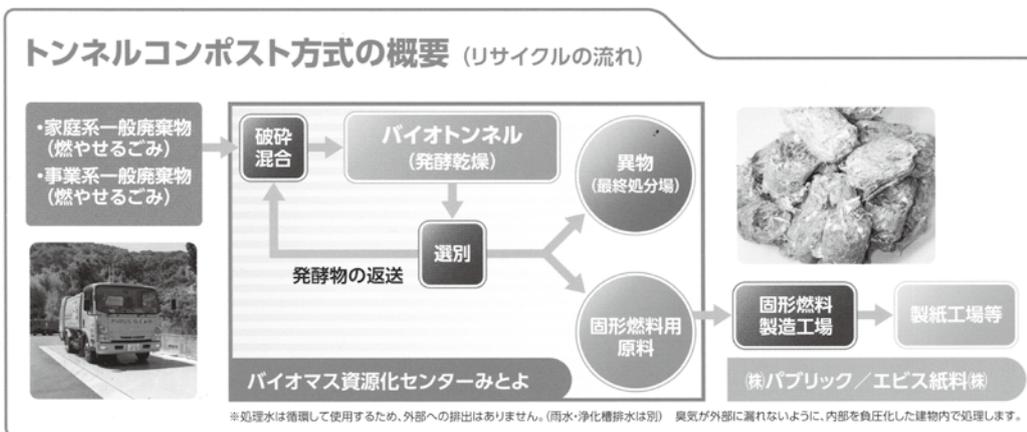
役場前交差点

問 ごみ処理方式変更検討の認識の変化は

答 処理方式の再検討は大変重要

問 350億円を超える予想される新ごみ処理施設について、副管理者(町長)として、トンネルコンポスト方式に切り替えていくための検証をする。と踏み込んだわけは、三豊市(徳島県)の「バイオマス資源化センターみとよ」を視察して認識に変化があったのか。

答 CO2削減が叫ばれているとき、燃やさないごみ処理、しかも可燃方式より建設コストが安くなるという説明があったので、財政負担が軽減されるこの時期に将来のごみ処理方法について悔いの残らない方式を再検討することは、とても重要だと考えている。



株式会社エコマスター パンフレットより



宮崎 光一 議員

問 投票率向上の 取り組みは

答 ウエットティッシュ配布と
18歳の投票証明書発行



問 県議会議員選挙をはじめ町長選挙や町議会議員選挙など様々な選挙が控えている。投票キャンペーンや選挙啓発など、本町の取組状況は。また、近隣町では、投票率向上のため、期日前投票者へごみ袋などを配布している。本町で実施する場合、予算的には、15万円か20万円であるが、その予算はあるか。

答 スーパー前でのウエットティッシュ配布などの街頭啓発や、町独自の啓発として、18歳で、初めての選挙人になった方に通知をし、投票に来られたら投票証明書を発行している。

県議会議員選挙の啓発物品は、ウエットティッシュを予算化している。提案のあった期日前投票の啓発については、選挙管理委員会と協議し、今後の参考にしていく。

問 ふるさと納税で

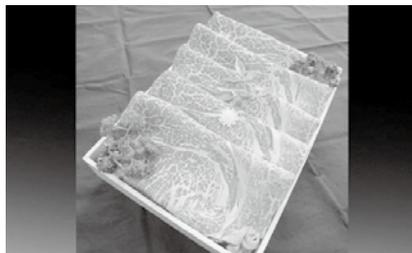
答 返礼品開発し、寄付額増額に努める

給食費の完全無償化を

問 ふるさと納税額の令和4年度の予定額と、納税額の何%が経費か、近隣町に比べ寄付額が伸び悩む原因は。ふるさと納税を給食費に充てている町がある。給食費完全無償化を今後続けていくには、財源が必要だが、どう考えるか。給食費に充当できるよう、各課と連携を取りながらふるさと納税事業を。

答 2月現在で約5,012万円であり、ここ数年は、約5,000万円前後で推移している。納税額の約半分が経費。近隣町に比べ、品ぞろえは同じだが、町自体の魅力、ブランド力が違うのではと考える。地域産物を返礼品に加え、返礼品の魅力を上げることが納税額増加のひとつの手段だ。

保幼小中の給食費は2,880万円必要であり、産業課をはじめ役場内での連携を図りながら、より多くの人に欲しいと思ってもらえるような返礼品を追加していきたい。



返礼品の一例



岡田 隆行 議員

問 図書館整備の計画は

答 整備・文化財修繕・保全に努める



問 図書館の建物は、町の重要文化財としての貴重な建物であり、それらを活用した図書館整備と、コミュニティや、歴史的な資料整備も含めた活用が望まれるが計画はあるか。

答 図書館整備としては、甲良町第4次総合計画の政策に、歴史文化の保全と普及がある。文化財や伝統文化に親しむ場や情報を得る場の拡充を図るため、甲良町歴史資料館の整備、文化財の修繕、保全に努めることが位置づけられている。

問 経済的な理由や教育の問題、様々な問題はあると思うが、窓口等で出会う中で感じる大きな問題は、住居の問題が大きいと思う。離婚等が原因でひとり親家庭となり、本町への転入や町内での転居などを考えている場合、公営住宅の入居を希望される方が多いが、アパートなどの賃貸物件も少ない本町では、実際に転出を余儀なくされてしまったケースもある。

問 ひとり親家庭の

課題や問題は

答 大きな問題は、住居の問題

問 本町におけるひとり親家庭等に対する課題や問題は。



問 住宅新築資金以外の裁判で、弁護士に支払った金額は

答 平成30年以降で合計618万円



山田 裕康 議員

問 ① 住宅新築資金以外の裁判で、弁護士に支払った金額は。
 ② 町民との話し合いで済むことでも弁護士に委託して、町民との話し合いをしないのは、何故か。
 ③ 弁護士費用が多くなっているが、費用を少なくすることを考えているのか。

答 ① 平成30年以降で、着手金、報酬、預け金等で、合計618万円である。
 ② 請求人が弁護士委任していたのに、請求人と町の担当者のやり取りになったので、町側も弁護士にお願いした。
 ③ 本町では訴訟が多いが、できるだけ平常に戻せる努力をしていきたいと思っている。



※町民との話し合いを、しっかりと行っていき、何でもかんでも弁護士委任をして、町民を怒らせるような行為は控えて、弁護士費用の無駄遣いはしないようにするべきだ。
 また、裁判において、最高裁まで上告している案件で敗訴となった。議会や弁護士が上告しても勝ち目はないと言っても、町長は上告し、弁護士費用の無駄遣いをしたが、なんら反省がない。

問 令和3年度より、除雪範囲は減っているのか

答 約3割程度減少している

問 ① 令和3年度より、除雪範囲は減っているのか。
 ② 除雪作業における業者は、何社か。
 ③ 業者は、本町の業者なのか。
 ④ 令和3年度の除雪作業で、1番多く費用を支払われた業者、1番少なく支払われた業者はいくらか。

答 ① 64・6 kmから45・8 kmで、約3割程度減少している。
 ② 令和4年度においては、13社と契約している。
 ③ 町内業者が10社、町外業者が3社。

④ 一番多いところで、除雪作業費用、排雪費用、待機料を含め約2,350万円、一番少ないところで、約137万円である。

※本町のことは、本町で補えれば、それに越したことはないので、その体制の構築を。



VOICE

Episode.1



議会だよりへのご意見

- よくご覧になられますか
 年数回発刊されていますがほぼ目に留めています。
- 感想は
 最近はリニューアルされて文字から写真へと見やすく変わっており改善されて見やすいと思います。
- 興味のある記事は
 シリーズ元気ものは歴史、文化や集落活動等あらゆる視点にて記事にされ良いと思う。
- 町・議会への提案
 一般質問の内容から各議員の活動や町の政策について理解や研鑽を深めていますが、一部批判的な内容もあり、まずは住民のニーズでより一層の舵取りをお願いしたい。



氏名 **阪東 隆さん**
ばんどう たかし
 (下之郷)

6月定例会の予定

～議事を傍聴してみませんか～

月日	内容
6月2日	全員協議会
5日	開会・一般質問
6日	一般質問 (予備日)
9日	委員会 (予備日)
14日	閉会

なお、都合により日程が変更になる場合がございます。会期日程、議会会議録などは、ホームページでも公開しています。



今号より、議会だよりをリニューアルいたしました。
 町民の皆さんに、より分かりやすく、より読みやすくをモットーに広報委員一同、頑張っていきますので、これからもよろしくお願ひします。

発行責任者 議会広報特別委員会

- 議長 建部 孝夫
 委員長 丸山 恵一
 副委員長 岡田 隆行
 委員 阪東佐智男
 山田 裕康
 山田 充